



広島市教育センター所長 升尾好博

私の宝物

紫陽花が陽光に輝き鮮やかな色を呈している今日、教育センターの玄関には様々な講座の案内板が掲げられ講座が行われています。研修室の中で、講座を参観した私が教職員のみなさんの研修への熱気を共有するとき、嬉しくもあり、深い感動を味わうとともに広島市の教育の底力をも憶えます。

言うまでもなく、教育の成否はその直接の担い手である教職員の資質能力に負うところが大きく、広島の新しい教育が実現することを共に願うとき、その資質能力の向上は極めて重要な課題の一つであり、同時に教職に携わる者として自己実現を図るうえで重要な自己の課題でもあると思います。私たち教職に携わる者はだれも皆、子どもや保護者等の願いやニーズに応える教育活動を創造・実現していきたいと願い、そのための営みを日々行っています。しかし、その営みは、一朝一夕に願いの実現へと加速化するものではなく、教育実践の過程では様々な課題が生じているとともに、試行錯誤しながらの毎日ではないかと推察いたします。

そこで、当教育センターでは、経営目標に『教育センターが、「元気の出る」「頼りにされる」「共に汗を流す」場となること』を掲げ、研修事業や調査研究事業等に取り組むことを通して、教職員のみなさんを支援してまいりたいと考えております。

具体的には、研修事業では、89本の研修講座に加えて、新たに e-Learning 研修を実施してまいります。また調査研究事業では、少人数指導のあり方を追究したり、教科の指導で活用できるコンテンツを開発してまいります。さらには、教育センターの Web ページの充実を図り、研修講座等の教育情報の提供をしたり、教育実践上の課題に係る教育相談に積極的に対応してまいりたいと思っております。

ところで、私には、常に心に留め、戒めとしている宝物が二つあります。その一つは「教育は人なり」という言葉です。そしてもう一つは、「子どもは無為にして今そこにいるのではない。自分をとりまいてのものとの関係の中で、何かを学びたい、成し遂げたいと絶えず求めている。分かりたいとか、成長したいとかという思いを全身で自分なりに表現しているのは、この求めに違いない。私たちは全身でそれを感じ、応えていきたい。」という、ある学校の教育観です。

教育センターが、教職員のみなさんにとって、共に学び合い高め合える場の一つとなり、研鑽の炎が燃え続けるきっかけの場の一つになることを願いつつ、所員一同、事業の充実に向け、この宝物を共有し、研鑽に努めてまいりたいと考えております。

もくじ

○巻頭言 P. 1
○教育研究の紹介 P. 2
○研修講座だより① P. 3

○教育情報の紹介・コラム P. 4
○教育関係資料等の紹介① P. 5
○教育センターひろば P. 6

「子どもの学び」を育むための カリキュラム研究

教育センター指導主事 堂道 和雄
教育センター指導主事 谷田 増幸

I 研究のねらい

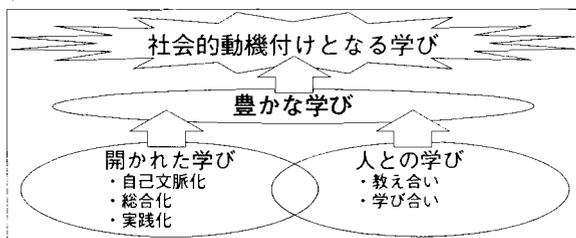
今日、「学力低下」への懸念が教育課題のひとつとして問題提起され、確かな学力の向上を図ることが、学校教育に求められています。

本研究は、児童生徒が「学習者」であるという視点に立ち、豊かな「学び」を育むことを指導のねらいとし、そのためのカリキュラムを開発することを研究のねらいとしました。そして、研究仮説を児童生徒の「学び」を開き、豊かなものへと拓くことが確かな学力の定着につながるとし、①学習指導過程、②学習教材、③学習評価の側面から、カリキュラム開発を行うこととしました。

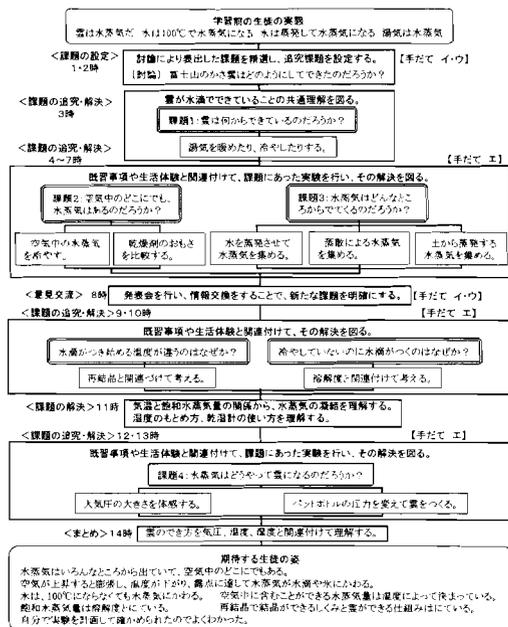
II 研究内容

児童生徒の「学び」について、本研究においては、「社会的動機付けとなる学び」を学び像として掲げ、そのための学びは、「開かれた学び」及び「人との学び」によって、豊かな学びになると、文献研究から規定しました。

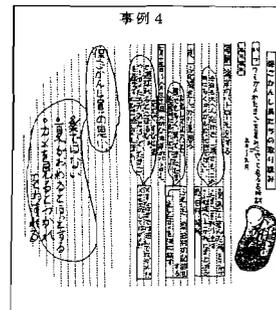
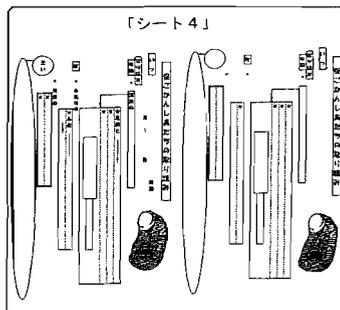
同時に、学びは、児童生徒の内面で、「自己文脈化」され、「総合化」され、そして、「実践化」される過程を経ることで、より豊かなものに育てられると、過去の実践研究等から規定しました。



以下に示すものは、授業のねらいや児童生徒の学びの状況に応じて取り入れた学習指導過程、学習教材、学習評価の一例です。授業研究では、これらの有効性をさぐることにしました。



学習指導過程例（中学校第2学年「理科」）



シート4は、「保ごかんし員たちの取り組み」についてのワークシートである。事例4の児童は、用意した3種類のシートを使わないで、より書き込みの自由度のあるワークシートを活用しており、カメに対する自分の思いをふき出ししたり、保ごかんし員に対する思いにも触れている。このように、児童の学習状況に応じてワークシートの工夫・改善を行い、児童のニーズに柔軟に対応することが学習意欲をさらに高めていく手だてになると考える。

学習教材（ワークシート）の工夫例（小学校第4学年「国語」）

	定着が十分でない生徒A	ほぼ定着している生徒B	十分定着している生徒C
授業前に作成した事業計画書	書面にアンダーラインを引き、意味を調べていたが分からないため、未記入で提出する。	レンタルビデオ店の事業計画書を提出したが、地域にレンタルできる店が少ない、子供が多いから利用してくれる程度の分析で、詳しい内容や、市場性や成長性などが十分に記入できていない。	新素材の布を作るプロジェクトを提出した。具体的内容を記し、市場性や成長性などについて論理的に記述している。製造と流通の双方についても思考している。
K法による分析のまとめ	意見の中の学生が多いという点に視点を当て、書店、スポーツセンターなどの市場性について、簡単な考えが書かれている。	授業中に書いた意見を箇条書きに書いている。たが書店、スポーツセンターが解らない。	授業中に書いた意見をまとめ、思考の過程を矢印で示している。そして宅地などの料理店が少ないことに着目している。
授業後に作成した事業計画書	スポーツセンターの事業計画書を作成した。しかし、事業の概要が具体性がなく、市場性などの分析も不十分である。	保存所・託児所の事業計画書を作成した。家庭が安心して子供を預けることができるプランを、市場性も考慮しながら考えている。また、こうした事業が地域を発展させる点に気づいている。	移動式レストランの事業計画書を作成した。事前に提出した案と異なる。市場性（顧客）成長性、新規性、競合性、さらに事業の課題などについて思考し、論理的に考えることができていた。
分析と考察	読み書きの苦手な生徒である。経済の授業に入り書き意識が強くなっているが、少しでも分らうと「現代用語の基礎知識」を追究活動で持ち出していた。意欲は見られ、意見交流する中で何とか述べていることができる。	事前の計画書よりも地産のニーズを考えた計画書を作成することができた。B生徒は3学年になり、小学生高年齢化などの社会問題に関心を持っており、計画書にも反映されている。しかし、C生徒のようなボリュームのある論述がまだできていない。	事前の計画書でも十分だが、新規性を考えて、あまり見かけず、資本も少なくても済む計画書となっている。以前からの論理的に考えることができたが、計画書に見られるように、最近主張に勢いが感じられるようになった。

学習評価例（中学校第3学年「社会科」）

III 研究のまとめ

次のような観点から工夫を講じることにより、豊かな学びを育むことにつながることが確認できました。

- 児童生徒が、既習の学習事項や生活経験等とかわらせながら、自分自身と接点をつくり、新たな学習欲求を刺激するような学習教材を開発すること。
 - 児童生徒が、「問題の発見」→「問題の探究」→「成果の表現」を、学習の過程で繰り返し行うことができ、しかもその過程で、「開かれた学び」や「人との学び」を行うことができる学習指導過程を構成すること。
 - 児童生徒の学びの状況が、「自己文脈化」→「総合化」→「実践化」へと発展しているか、同時に、そのために必要な理解や技能等がどのように向上し定着しているかを見極めることができる評価基準及び評価方法を開発すること。
- 今後も、臨床的なデータを数多く集積し、豊かな「学び」を育むための教育指導の要件をさらに具体化していきたいと考えています。

（詳細は、『研究紀要第24号』を参照ください）

研修講座だより①

5月に実施した研修(一部)の概要をまとめました

特別支援教育推進教員研修講座

講座の主題

講師

国立大学法人広島大学
教授 落合俊郎

講座の概要

特別支援教育の推進の充実に向けて、本年度から特別支援教育コーディネーター(特別支援教育の推進担当教員)を対象に講座を実施することとしました。第1日目は、広島大学の落合俊郎教授を講師に迎えて、上記のテーマで研修を行いました。

大学で調査された広島県内の特別支援教育の現状や、様々な資料から特別支援教育の必要性、本年1月に文部科学省から示された「小・中学校におけるLD(学習障害)、ADHD(注意欠陥/多動性障害)、高機能自閉症の児童生徒への教育支援体制の整備のためのガイドライン(試案)」や他県の校内支援体制の手引き等から特別支援教育コーディネーターの役割等について話をしてくださいました。

<特別支援教育コーディネーターの役割とは?>

- 1 校内での連絡調整役を担います。
 - ・学級担任等からの相談に応じたり、助言したりするなど、学級担任等への支援を行います。
 - ・特別な教育的支援を必要とする児童生徒とかかわりのある教員等で必要に応じて小グループを作り、ケース会議を行います。その際の推進役をします。
 - ・学級担任等からの相談内容やケース会議で出された内容等の情報を収集・整理し、校内委員会へ情報提供します。また、校内委員会での推進役をします。
- 2 保護者に対する学校の相談窓口となり、保護者の支援を行います。
- 3 医療機関等の校外の専門機関等との連絡調整の窓口となります。
- 4 特別支援教育の理解、指導の方法等についての研修の企画をします。 など

参考:『小・中学校におけるLD(学習障害)、ADHD(注意欠陥/多動性障害)、高機能自閉症の児童生徒への教育支援体制の整備のためのガイドライン(試案)』(文部科学省)等

生徒指導講座(2組)

講座の主題

講師

広島市児童相談所
主幹 森光博

講座の概要

幼児・児童生徒への虐待の早期発見・早期対応の必要性が喫緊な教育課題となっています。子どもへの虐待の実情、なぜ虐待が問題なのか、早期発見のためのチェックリスト、虐待に気付いたときの留意点、学校や幼稚園でできること等について話をしてくださいました。

児童虐待の相談・通告受理件数

	受理件数(本市)
H13年度	271
H14年度	337
H15年度	333

虐待とは…

- ・身体的虐待
- ・性的虐待
- ・ネグレクト
- ・心理的虐待等

虐待の問題点は、密室の家庭の中で発見が遅れ、長期化してしまうこと。「おかしいな?」という疑いだけでいいので、なるべく早く相談してほしいと繰り返しお話しされました。

<早期発見のためのチェックリスト>

- ・子どもや保護者の説明と一致しないような不自然な外傷(打撲・火傷)が見られる。
- ・衣類がいつも汚れている。
- ・保護者の顔色がうかがう。
- ・連絡もなく登園(校)してこない。
- ・家に帰りがたがらない。
- ・過度に緊張し、視線が合わせられない。
- ・接触を避けようとし、警戒心が強い。
- ・攻撃的で威圧的な行動が目立つ。 など

<対応>

- ①子どもの安全を確保する。
- ②虐待している親を責めない。
- ③一機関で抱えこまない。

親のしんどさなどを理解した上でつきあうことが解決につながりやすい→親を支えることで子どもが救われると考えて、親や子どもを支えてほしい。

参考:『平成14年度子どもへの虐待防止マニュアル』(児童相談所)

情報モラルとセキュリティについて

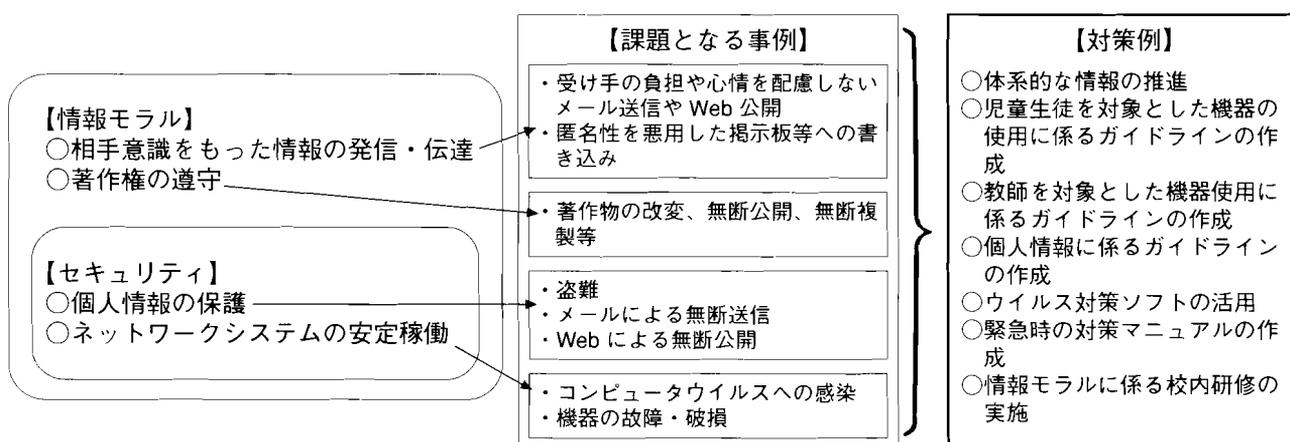
インターネット等の情報通信技術の飛躍的進歩によって、コンピュータはよりネットワーク化され、世界中の情報の収集や自ら作成した情報の発信が、高速大容量で行うことができるようになりました。また、市立学校にも現在、インターネットの常時接続環境が整備されつつあります。

このような状況において、各学校には、情報教育の充実をはじめとする「教育の情報化」の進展が求められており、各教科等の指導過程で情報教育を具現化することが実践課題となっています。さらに、情報社会の一員として、子どもだけではなく私たちもまた、「情報モラル」や情報管理・安全対策（セキュリティ）について理解を深めることが必要となっています。以下に示すものは、その要点をまとめたものです。

【情報モラル】とは

一般に、自己の発信する情報が他の人々や社会に及ぼす影響を十分に認識し、将来を見込んだ新しい倫理・道徳の確立、新しい常識の確立、情報価値の認識の向上など情報の在り方についての基本認識のことを言います。これは、比較的幅広い概念で、情報セキュリティを含みます。

情報モラルとセキュリティにかかわって、課題となりそうな事項を次のようにまとめてみました。



著作物の無断使用やインターネットの匿名性を利用したいが故には個人や企業の利益を大きく阻害することにつながり、訴訟問題に発展した事例もあります。著作権について不明な点がある場合は、次の Web ページを参考にされてはいかがでしょうか。

- 文化庁 <http://www.bunka.go.jp/>
- 社団法人著作権情報センター <http://www.cric.or.jp/>
- CI-NIME 教育メディア著作権関連情報 <http://deneb.nime.ac.jp/>
- 社団法人日本音楽著作権協会 <http://www.jasrac.or.jp/>
- 社団法人日本映像ソフト協会 <http://www.jva-net.or.jp/> など

コラム

《「関心・意欲・態度」の評価の工夫》

関心・意欲・態度とは、「学習内容に対する子どもの心的または行動的傾向性」であり、その傾向性は学ぶことの動機づけとなったり学びを豊かなものに発展させる要因ともなるものです。また、その評価に当たっては、次のようなことが要点となります。

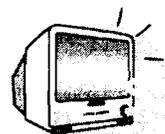
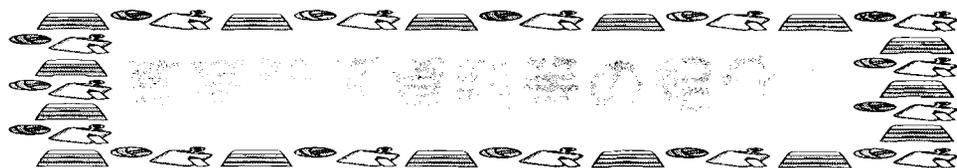
①「単元の指導目標」とかかわらせて

評価の観点とは、その単元で重点とした指導目標と関連してきますので、その設定に当たっては、単元の学習過程における子どもたちの姿を具体的にイメージする必要があります。

②具体的な行動をより分かりやすい用語で

評価基準が指導の改善に一層役立つものとなるための工夫として、「学習者の達成した姿を行動を示す用語で記述する」ことが考えられます。例えば、「作品の感想を深めようとする」では、「感想を記述しようとしている／仲間の感想を聞こうとしている」のように行動を示す用語で作成することも考えられます。

<参考文献> 二瓶弘行 「評価基準の作り方—三つの覚え書き—」(「授業研究21」2004年2月号 明治図書出版)



教育センターでは、各学校等における教育活動を支援するため、教育関係資料を計画的に収集・整備しております。平成16年3月に購入した図書の一部と e-Learning システムを紹介します。

- 【学校経営】** 『新しい学校評価と組織マネジメント 共・創・考・開を指向する学校経営』 木岡一明 第一法規出版
- 【学年・学級経営】** 『図解 学級経営 学級生活編・学習指導編』 羽豆成二 東洋館出版社
- 【学習指導法】** 『小学校 少人数指導の評価 一人に応じた指導をどう進めるか』 小島 宏 教育出版
『少人数、習熟度、チームティーチング実践事例集』 教育方法実践研究会 ぎょうせい
- 【各教科】** 『広島市今昔写真帖 20世紀のふるさと150景』 広島県教育用図書 郷土出版社
『平成13年 小中学校教育課程実施状況調査報告書 小学校(国・社・算・理)、中学校(国・社・数・理・英)』 国立教育政策研究所教育課程研究センター 東洋館出版社
- 【道徳】** 『「心のノート」とエンカウンターで進める道徳 小学校低・中・高学年編, 中学校編』 諸富 祥彦 明治図書出版
- 【生徒指導】** 『問題行動解決支援ハンドブック 子どもの視点で考える』 ロバート・E. オニール, 三田地昭典, 三田地真実 学苑社
- 【教育相談】** 『児童虐待の発見と防止 親や先生のためのハンドブック』 ジェームス・A. モンテリオン, 加藤 和生 慶應義塾大学出版会
- 【特別支援教育】** 『通常の学級における LD・ADHD・高機能自閉症の指導; つまずきのある子の学習支援と学級経営』 吉田昌義・柘植雅義・河村久・吉川光子 東洋館出版社
『ことばの発達と認知の心理学』 鹿取 廣人 東京大学出版会

図書資料室の利用について

- 利用時間 教育センターが開庁している日の9:00~17:00
- 貸出数量及び期間
- | | |
|--------------------|------------|
| ア 教育に関する資料 | イ 視聴覚資料 |
| 個人貸出 一人5冊まで2週間以内 | 個人・団体貸出ともに |
| 団体貸出 1団体10冊まで3週間以内 | 3点まで1週間以内 |
- 返却方法については、所員にお問合わせください。

【e-Learning による研修プログラムの紹介】

研修できること	ソフト名
ワード、エクセル、パワーポイントの操作技能の向上を図る。	・よくわかる Word2002 基礎、応用 ・よくわかる Excel2002 基礎、応用 ・よくわかる PowerPoint2002 基礎
身近な事例を通して、情報セキュリティについての認識を深める。	・情報セキュリティ(入門編)
職場などでのよりよい人間関係を構築するためのコミュニケーション・スキルの習得を図る。	・職場のアサーション
自らのストレスにうまく対処するための考え方や行動様式(コーピング)の習得を図る。	・職場のストレスと対処

現在、教育センターでは、皆様の研修ニーズに応えるために、新しい研修システムを構築しております。

本システムによる e-Learning 研修では、学校のコンピュータから教育センターのサーバーに接続して、いつでも研修することができます。なお、その研修プログラムは左表のとおりです。

【稼働予定は9月】

教育センターひろば

職員・分掌

事業等	職名	職員	担当業務
管理部	所次	長 升尾 好博 長 吉竹 邦昭	所務総括 所務管理・執行
	庶務	主幹(事)主任 若本 英治 主幹 中村 良孝 主事 栗栖美保子	管理部総括, 施設設備管理 安全点検, 文書管理等 予算・決算, 文書, 経理
研修1部	指定研修等	主任指導主事(事)主任 尾形 慎治 主任指導主事 堂道 和雄 指導主事 藤村 和彦 指導主事 水ノ上俊一 指導主事 正原 直行 研修指導員 福本 喜代子 研修指導員 有馬 健雄 研修指導員 藤野 軍治	指定研修等総括 11年次教員研修等担当 管理職研修, 英語教員研修等担当 初任者研修等担当 教務主任, 中堅層教員研修等担当 6年次教員研修等担当 16年次教員研修等担当 2年次教頭・教員研修等担当
		算数科・数学科 理科・総合的な学習の時間 外国語(英語)科 生活科, 特別活動 地理歴史科 理科 社会科 保健体育科	
研修2部	一般研修等	主任指導主事(事)主任 井坂 雅浩 指導主事 大下 恵子 指導主事 住吉 磨 指導主事 谷田 増幸 指導主事 山領 勲 研修指導員 濱田 昭法 研修指導員 松井貴美子 図書資料分類整理員 大下千賀子	一般研修等総括 課題別研修, グループ活動教育研究等担当 コンピュータ研修, e-Learning 研修等担当 職務別研修, 教育研究の推進等担当 特別支援教育・幼稚園教育研修等担当 美術科教育・社会教育研修等担当 生活科教育・校長研修等担当 図書資料室管理関係事務
		音楽科 国語科, 平和教育, 人権教育 情報教育, 生徒指導 公民科, 道徳教育 特別支援教育, 幼稚園教育 美術科 生活科	



職員の異動

- * 離任 ~在職中はお世話になりました~
- 藤野 信也 所長 (青少年野外活動センターへ)
 - 住居 与作 主幹(事)主任 (皆賀公民館へ)
 - 加賀谷 祐枝 主事 (教育委員会総務課へ)
 - 松浦 俊雄 主任指導主事(事)主任 (井口台中学校へ)
 - 安井 忍 研修指導員 (退職)
 - 野田 進 研修指導員 (退職)
 - 萩 元紀 研修指導員 (退職)

* 就任 ~どうぞよろしく~

- 升尾 好博 所長 (舟入小学校から)
- 中村 良孝 主幹 (西区役所生活課から)
- 栗栖美保子 主事 (南区役所課税課から)
- 大下 恵子 指導主事 (安佐中学校から)
- 正原 直行 指導主事 (広島商業高等学校から)
- 有馬 健雄 研修指導員 (基町小学校から)
- 松井貴美子 研修指導員 (戸坂城山小学校から)
- 藤野 軍治 研修指導員 (庚午中学校から)

研究員

(平成16年4月~平成17年3月)

今年度は次の7名の先生方が、それぞれの専門分野等で研修を進めておられます。

- 理科教育: 岡本 順子(安小学校)
- 体育科教育: 清水 剛(落合東小学校)
- 数学科教育: 村上 和敬(吉島中学校)
- 情報科教育: 難波 太(安佐北高等学校)
- 商業科教育: 中堀 恵(広島商業高等学校)
- 生徒指導・教育相談: 岡崎美佐子(三篠小学校)
- 生徒指導・教育相談: 橋本志津江(安西中学校)

題字 「所報」

広島市立美鈴が丘高等学教諭 植村 正巳

表紙絵 「ひろしま」

広島市立川内小学校校長 清見 嘉文

編 集 後 記

新しいスタッフで「頼りにされる教育センター」を目指していきます。よろしくお願いたします。

編集・発行/広島市教育センター
〒732-0068 広島市東区牛田新町一丁目17番1号
TEL(082)223-3563 FAX(082)223-3580
E-mail: edu-center@city.hiroshima.jp
Website: http://www.hcec.ed.jp/

広X6-2004-17(1)